



めたせこいあ

至 創 努 校
誠 造 力 訓

島根県立吉賀高等学校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937
電話 (0856)78-0029 FAX (0856)78-0742
HP アドレス <http://yoshika.ed.jp/>

「サクラマス交流センター(仮称)」建設が始まりました

吉賀高等学校 校長 熊谷 修山

8月中旬から、吉賀高校の県外・町外生の宿泊が可能になる町営の宿泊施設「サクラマス交流センター(仮称)」の建設が始まりました。建設地は、七日市公民館の南隣で吉賀中学校の体育館にも隣接する場所です。同時に現在、正式名称も含めて、利用規約等施設利用に関する様々なことが検討されています。

ところで、言うまでもないことですが、人間は誰にも個性があり一人一人が異なる存在です。性格も考え方もそれぞれ異なります。しかし、生活する環境によって影響を受ける面もあります。似たような環境で生活すれば、性格まで似ることはないにしても、考え方などは多少なりとも似た傾向を持つものです。方言を考えてみればよくわかります。方言は地域の個性です。言葉は暮らす環境の影響を受けます。そして、その言葉によって人は考えるわけですから、考え方でも少なからず暮らす環境の影響を受け共通性を持つ面があるということです。それに対して、町外・県外からの入学生を迎えるということは、異なる地域で暮らし、学んできた生徒を迎えるということ、異なる考え方の人間が集まり、多様化するということになります。

どんな場合でも同じですが、特に学校が多様性を持ったときに重要になるのは、自分とは異なる人や考えを認めること、つまり「他者」の存在を認めるということです。逆に言えば自分とは異なる他者の存在を認めるときに初めて多様性が成立するのです。そして、更に重要なことは、自分とは異なる他者の考えに触れたときに、きちんと他者の言葉に耳を傾け、自他の違いを明確にし、時には議論もしながら、他者の意見を自らの中に活かして、自分自身の考えや意見をより高い次元のものに作り上げていくことです。これが真の意味での切磋琢磨ではないでしょうか。刃物が砥石によって磨かれて研ぎ澄まされていくとき、その刃物は刃物自身の雑な面が砥石によって削り取られていき、刃物としての鋭利さを持つようになります。裏を返せば、刃物自身が砥石の影響を受けているということです。人間も同様で、その人が磨かれるということは、自分とは異なる他者の影響を受けるということに他なりません。他者の意見を闇雲に否定することは、自分の意見しか認めないことで、結果的には自分自身の成長もないでしょう。「他者を尊重する」ことが、自己の成長につながるのです。

現在も吉賀高校では吉賀町外・県外から生徒が入学して、吉賀町内出身の生徒とともに学校生活を送っています。今は「交流センター」のない、決して恵まれているとは言えない状況の中ですが、大変よく頑張ってくれていて、町内出身の生徒とともに落ち着いた共同体を作り上げていると思います。

来年度は「サクラマス交流センター」の完成によって、吉賀高校も名実ともに多様な生徒の所属する学校となります。今後も吉賀町外・県外からの入学生が増えていくこととなりますが、その中でも一人一人が自分とは異なる「他者」の存在を認め、お互いの意見を尊重しながら自らを高めていくことができる、真の意味での切磋琢磨の場として、吉賀高校がさらなる発展を目指していかなければならないと思います。そのためには、保護者の皆様・地域の皆様のお力を借りなければなりません。どうぞよろしくお願いいたします。



完成イメージ図

よしか祭大盛況！

文化祭・吉高マーケット (9月2日~3日)

文化祭1日目には、色組対抗ディベート合戦、ムービーコンテスト、音楽部発表、香川裕光さんのライブがありました。文化祭2日目には、吉高マーケット、生徒会企画、有志によるダンスやムービーの発表がありました。地域の方にも盛り上げていただき、吉高生の笑顔がはじける2日間でした。



盛り上がった音楽部のバンド演奏



最高のライブをプレゼントくださった香川裕光さんを囲んで



香川さんと音楽部のコラボも



舌戦が展開されたディベート合戦



ダンスで会場を魅了



大盛り上がりのイントロ・ドン



マーケットも大盛況で、予定より早く完売しました！

体育祭（9月4日）

天候が心配される中での開催となりましたが、吉高生のエネルギーが高気圧となって台風をも吹き飛ばし、今年も全ての競技で大熱戦が繰り広げられました。応援に駆けつけていただいた保護者の方、地域の皆様、ご声援ありがとうございました。



竹取物語



百足リレー



ミスター吉高



女子騎馬戦



綱引き



男子騎馬戦



スウェーデンリレー



赤組応援合戦



青組応援合戦



青組



赤組

吉賀高校のホームページ (<http://yoshika.ed.jp/>) の「吉高ギャラリー」によしか祭の写真を多数掲載しておりますので、是非ご覧ください。また、「吉高ギャラリー」では、1年生の東京研修なども随時更新する予定です。

部活動結果報告

【ソフトテニス部】県高校ソフトテニス選手権大会（9月17、18日—浜山運動公園—）

〔結果〕 藤本・泉	1回戦	4-0	松江農林
	2回戦	4-2	益田翔陽
	3回戦	4-1	隠岐
	4回戦	0-4	松江南
秋山・兒玉	1回戦	4-1	石見智翠館・松江西
	2回戦	4-2	出雲商業
	3回戦	4-2	明誠
	4回戦	0-4	石見智翠館
河野・中村	1回戦	4-0	津和野
	2回戦	3-4	大社



〔顧問コメント〕個人戦のみの今大会は、藤本・泉ペアと秋山・兒玉ペアがベスト16に入り、10月の県新人戦の団体第6シードを獲得した。新人戦は、団体ベスト4、個人戦全ペアベスト8を目指したい。

【陸上部】高校新人陸上競技大会（9月18日・19日—益田陸上競技場—）

〔顧問コメント〕男子1年100mで松田昂己、女子1年100mで前田愛日、増野歩実が予選を通過し、準決勝進出、男子1500mで黒田健、女子800mで實吉藍菜が記録を更新することができました。男子4×100mRでは、バトンミスをするなど、練習すべき課題はまだたくさんあります。また雨の中での競技は、今年度初めてで、陸上初心者の多い1年生にとっては、経験不足が顕著になった大会となりました。部員が、最近よく口にしている「練習あるのみ」を実行し、1か月後にある今シーズン最後の大会に向けて、頑張りますので、応援よろしくお願いします。

第2回オープンスクールのご案内

平成28年10月15日（土）13:00~16:30 詳細は吉賀高校ホームページをご覧ください。

中高一貫教育だより -吉賀地域中高一貫教育事務局(島根県立吉賀高等学校内)-

中高一貫教育コーディネーター 春日 亮二

「よしか祭」がグレードアップ!

9月2日（金）、町内の中学生が、吉賀高校の学園祭「よしか祭」に参加しました。午前中のディベート（テーマにそって賛成、反対の立場に分かれて討論し、相手の主張も取り入れながら自分の主張をより確かなものにしていく討論形式の一つ）では、体育祭の色組に分かれ、白熱した主張が繰り広げられました。（この討論の良し悪しが体育祭の得点に加算されるため？）進行役の生徒が迷わず話を進めていたのと主張を述べる生徒がはきはきと自信を持って述べていたのが印象的でした。

当日のテーマは以下の通りです。皆さんはどちらの側に立ちますか。

- 1年生 給食は必要か否か？
- 2年生 小学校での英語教育は必要か否か？
- 3年生 就職するなら、実力主義の会社か、年功序列の会社か？